

名古屋市営地下鉄名城線 大幸車庫

施設管理者 : 名古屋市交通局施設車両部

施設所在地 : 名古屋市東区

調査見学時期 : 平成17年11月25日

施設概要

ナゴヤドームの地下（正確にはドーム直近の地下）には、名古屋市営地下鉄名城線の大幸車庫があります。

本車庫は、名古屋市営地下鉄が平成16年10月に全国の地下鉄で初めて環状運転（ナゴヤドーム前矢田～金山～新瑞橋～名古屋大学～ナゴヤドーム前矢田の区間）を実現する際に、この環状化にともなう車両数増強に備えた新車両基地・保守基地として建設を行ったもので、平成6年11月に建設着手、平成12年1月より利用が開始されました。

2層式の完全地下型の車庫内では、車両の留置や列車検査などの軽整備が行われています。

大幸車庫の概要

(1) 車庫の機能

車両留置能力 6両×31編成=186両

検車ビット 長さ約100m 列車検査用3本 随時作業用1本

清掃線 車両清掃用として2本

(2) 車庫構造

鉄筋コンクリート箱形断面を有する地下2層構造

構築幅 約40m 縦断長さ 約570m

延べ面積 約41,230m² 掘削深さ 約20m

線路延長 約7.1km

(3) 施設

地下1階 軌道及び電気関係の保守基地、車両留置線、変電所、換気機械室など

地下2階 車両の検査線・随修線、清掃線、留置線、信号取扱室、配電室など

(4) 主要設備機械

昇降式サードレール装置、空気圧縮装置、自動車両洗浄装置、検査試験機器など

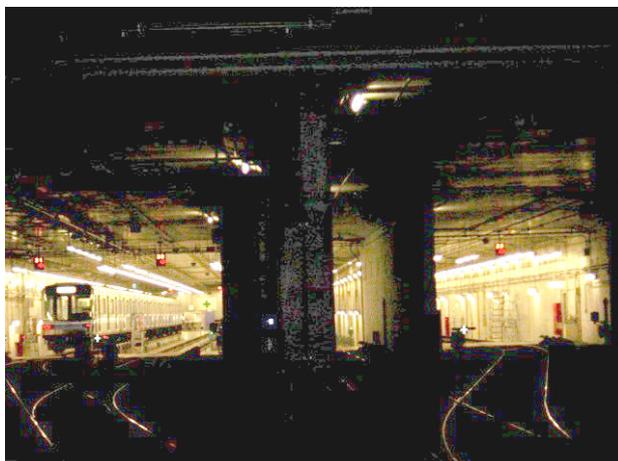


写真1 大幸車庫入線部付近



写真2 検査線